

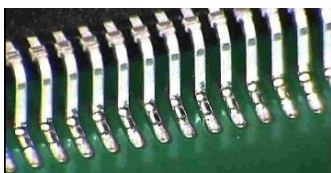


高密度実装基板用 SMD外観検査ステーション VS-8シリーズ

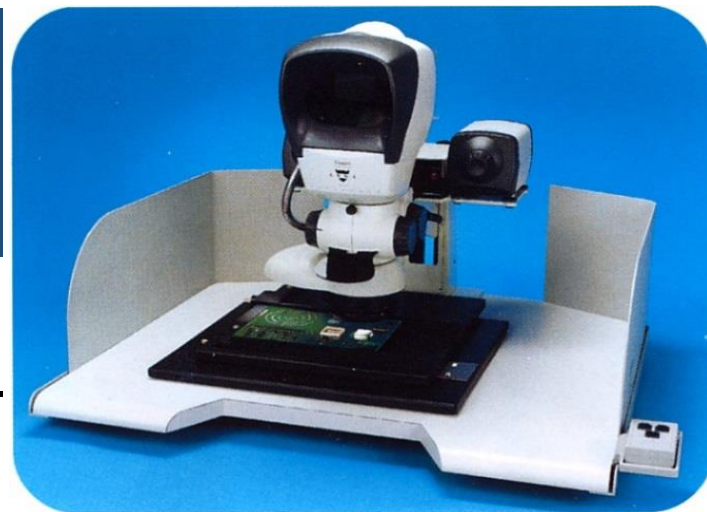
実装基板の目視検査に特化した検査支援システムで、垂直目視、傾斜目視(34°)、回転目視の3つの機能を有するズーム式ビューイングステーション。高密度基板やTABの目視検査支援システムとして高い適性を持っています。

■特徴

- 優れた画像解像度とコントラストにより、外観不良の検出率が向上します。
- 全方向(360°)からの3D・傾斜画像(斜め34°の角度)が得られます。
- スキャンステージは、M~LLサイズの両面実装基板に対応できます。



方向\項目	検査倍率	作動距離
直視	8.2~44倍	57mm
傾斜視	4.9~28倍	37mm



■ワークテーブル(スキャンステージ)

標準(Mサイズ基板対応)と、大型基板(LLサイズ基板対応)の2種類のステージを用意。基板をスムーズに移動させる事で、検査効率を向上させます。



分類\項目	対応基板サイズ	検査範囲
標準 (803/240)	310×310mm	300×250mm
大型 (803/241)	460×460mm	450×250mm

機種・品番		VS8/S/5-LED	VS8/S/6-LED
		標準テーブル仕様	大型テーブル仕様
ビューイングヘッド	L-001	●	●
ズームユニット	C-146	●	●
傾斜目視装置(手動)	C-200	●	●
標準ワークテーブル	803/240	●	—
大型ワークテーブル	803/241	—	●

■回転/傾斜機構

基板を360°回転させながらの傾斜目視(34°)により、真上から観察しにくい、ICリード等の検査確度が大幅に向上します。

↓傾斜機構



斜めからの傾斜画像で、より確度の↑高い不良検出が可能になるQFPリード